

障害者支援施設 障害者福祉センター友愛寮

1 基本方針

思いやりと友愛の心を持って、豊かで心のこもった利用者本位の質の高い福祉サービスを提供するために職員一人ひとりが専門職としての資質向上に努め、利用者が安全かつ安心に、楽しく有意義に生活できるよう支援する。

地域共生を重視し、ボランティアやイベント参加など地域住民との交流の実現に努めるとともに、介護・支援のニーズに応えられる通所や短期入所等の在宅サービスの充実を図る。

また、利用者の心身の状況や機能を踏まえつつ、利用者やご家族の希望に沿った地域移行、他施設への移動や通所利用等についても、細やかに支援する。

災害発生に伴うリスクを十分認識し、必要な備蓄や災害時における他施設との連携を強化するとともに、災害時の福祉避難所としての機能の充実など、地域に求められる施設を目指す。

2 今年度重点事業目標

(1) 安定的な施設運営の維持及び施設の環境整備に努める

ア 安定的な施設運営を図りつつ、併せて厚和寮との改築に備えた入所人数の調整を実施する。

(目標稼働率：生活介護 90%、入所支援 90%、短期入所 50%)

イ 利用者の高齢化・重度化が進む中、安心・安全で快適な生活を提供するため、老朽化しているが一層の施設の環境整備、施設建物の保全に努める。

また、緊急災害時に備え、必要物品の備蓄や施設内の防火設備の点検・改修を行い、災害訓練を実施する。

ウ さらに、新型コロナウイルス感染症やその他の感染症に対して、クラスター発生の反省を踏まえて、一層適切な対策を講じることにより、利用者・職員への感染を防止し、施設運営が円滑に継続できるよう努める。

エ 厚和寮との改築については、先ずは定員関係の整理、利用形態の検討などのソフト的な面の対応を進め、建設コストの動向も勘案しながら、適切な建設時期を模索する。

(2) 利用者の満足度の高いサービス提供に努める

ア 利用者一人ひとりの日々の生活での現状・ニーズを丁寧に把握し、課題を整理した上でアセスメントを行うなど、各部署が協働して個別支援計画の充実・達成を図る。

イ 障がい者の特性を理解した上で支援が可能となるよう、職員は専門職としての介護や医療の知識・技術の向上、研鑽を図るとともに、チーム力の向上にも取り組む。

ウ 利用者・家族アンケートや業務遂行に係る職員の自己評価の実施により、定期的に提供しているサービスの振り返りを行い、業務の改善・向上に努める。

エ 利用者が安心して暮らせるよう施設全体で虐待防止や権利擁護に向けた取組を行い、サービス向上に努めるとともに、事故防止に向けたリスクマネジメントを強化する。

オ 個々の咀嚼・嚥下機能に適した食事提供を行い、確実・安全に栄養摂取することができるよう、季節ごとに楽しみのある食事提供を行う。

カ 利用者の心身機能に合わせた日常生活リハビリへの積極的な取組や福祉用具の活用により安心安全な生活が継続できることを目指し、かつ日中活動の充実により楽しみのある生活となるように努める。

キ 利用者・家族が安心して地域での在宅生活を継続できるよう、相談支援事業所や地域包括支援センター、各市町村とも一層の連携を図る。

ク 職員が働きやすい風通しのよい環境を整えつつ人材育成に努め、人材の定着を図る。

(3) 医療的ケアの充実を図る

ア 各部署が連携し、日常の観察と情報の共有を徹底し、利用者の日常の健康管理や異変時の早期対応(担当医への相談・通院等)に努める。

イ 必要な知識と技術向上に努め、有資格者による安心・安全な喀痰吸引・経管栄養を実施する。